

全附P連 令和6年度 附属学校・PTA活動 情報紹介シート

所属学校名	神戸大学附属中等教育学校		
役 職	PTA 会長	氏 名	多喜田 保志
活動名称	兎原祭における PTA 活動紹介		

神戸大学附属中等教育学校（以下、KU）では、毎年5月に文化祭「兎原祭」が2日間にわたり開催されます。来場者が延べ 5,000 人を超える大規模なイベントで、生徒たちは半年以上前から準備を始め、実行委員は企画の配置やパンフレット制作、雨天時のレイアウトまで細部にわたり検討します。保護者も吹奏楽部や父親の会など自主企画で祭りを盛り上げ、学校全体が一体となるこの祭典は、KU の魅力を象徴する行事です。以下に、兎原祭における PTA 役員会の取り組みである制服リユースと PTA 企画を紹介したいと思います。

1. 制服リユースの取り組み

制服リユースは、卒業や成長により着用しなくなった制服を回収し、必要とする生徒へ提供するプログラムです。「捨てるにはもったいない」「制服は高価なので気軽に譲り受けてい」という保護者の声から生まれました。資源を有効活用するこの取り組みは、SDGs にも通じています。

準備は兎原祭の約半年前から始まります。まず保護者に協力を依頼し、不要になった制服を募集します。集まった制服は状態を確認し、性別・サイズ・種類（ブレザー、ズボンなど）ごとに整理します。兎原祭の 1 か月前には、全校生徒に申込用紙を配布し、希望者は第2希望まで記入して申し込みます。PTA 役員がマッチングを行い、結果を生徒に通知。兎原祭初日に PTA 企画室で制服を受け取ります。対象は1人1点までですが、状態が悪くリユース不可となった制服については展示し、希望者に自由に配布しています。この活動は、保護者・PTA・生徒が協力し、資源を大切にしながら学校生活を支える温かい取り組みです。

2. PTA 企画—兎原祭を彩るオリジナルグッズ販売

兎原祭当日、PTA では毎年オリジナルグッズの販売を行っています。収益は生徒会に寄付され、生徒の学校生活の充実に役立てられます。生徒や保護者にとって、KU のロゴや制服柄は特別な存在であり、グッズは毎年大好評です。

瓦せんべいは定番の人気商品ですが、毎年新しいアイデアを加えています。一昨年はクリアファイル、昨年はネームホルダーを製作。「入校許可証を KU ロゴのホルダーに入れると保護者としては学校に来るのに気分が上がる！」という声から生まれたこのアイテムは、透明素材にロゴのエンボス加工を施し、シンプルながら洗練されたデザインに仕上げました。

このように、PTA 役員は、KU を愛し、子どもたちの学校生活をより楽しくするために知恵を出し合っています。PTA 活動は、子どもたちのために協力しながら自分たちも楽しむ“大人の青春”。来年もさらに魅力的な企画を目指し、皆で力を合わせていきます。



兔原祭の PTA 企画および KU グッズ



兔原祭の制服リユース